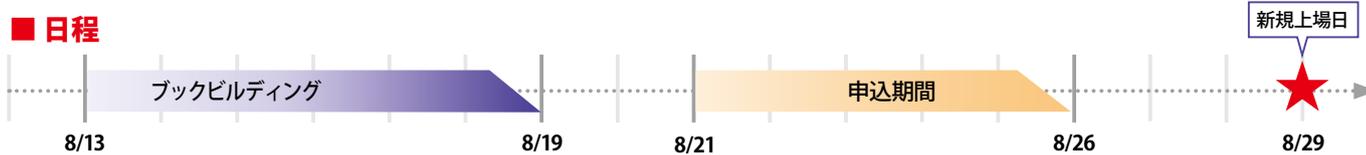


IPO銘柄 N・フィールド (6077・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6077	100株	公募: 35.5万株 売出: 5.5万株 (OA6.15万株)	1,300円~1,500円 (9.5倍)	野村証券



地域と連携した訪問看護サービスを展開

■ 事業内容

介護保険制度と医療保険制度に基づいて高齢者や精神疾患者の住生活サポート、在宅治療の支援を行う訪問看護サービスを展開。訪問看護では精神疾患を持つ利用者に対し、通院や服薬確認、指導を行うなど病状が安定するような医療的な援助に加えて、日常生活の援助も行う。拠点として首都圏のほか、関西、中部、九州、東北などの都市部で訪問看護ステーション「デューン」を28事業所、7営業所の計35カ所運営（13年6月末）。居宅サービス事業の単一業態。

■ 特徴

常勤を中心に正看護師、准看護師を多く雇用。広範囲で事業を展開していることから、各地で培った知識やネットワークを組織として共有して対応力を高めている。また、病院の系列に属さない独立系である強みを生かして地域住民との広域かつ柔軟な連携を行い、地域からの支援を最大限に活用したサービスを提供している。

アナリストコメント

■ 定量分析

13年12月期は非連結経常損益1億7,500万円の黒字（前期は2億3,700万円の赤字）を計画する。新事業所の開設と看護師採用増を積極的に行ってきたことで業績は12年12月期まで3期連続で赤字となっていたが、今期から黒字に浮上する見込みとなっている。投資期から収益拡大期に移ったタイミングにある。

■ 類似企業

N・フィールド(6077・マザーズ)	予想PER9.5倍 (仮条件上限)
セントケア・ホールディング (2374・JASDAQ)	予想PER10.0倍
ケアサービス (2425・JASDAQ)	予想PER9.8倍

■ 定性分析

訪問看護という新しい領域の企業だが、ビジネスモデルは既上場企業の多い訪問介護と似ており、特段の目新しさはない。また、IPOマーケットにおいては、介護関連など根強い需要があるものの、収益成長率などに派手さのない企業はあまり人気にならない傾向もある。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約7億円。2位株主のジャフコ系ファンドが発行済み株式の38%（上場前）を保有しているが、ロックアップが付されており初値形成までは市場に流通しない。市場からの吸収金額は少なく、需給妙味は大きそうだ。（小泉 健太）

■ 引受証券

野村証券、いちよし証券、マネックス証券、エース証券、岩井コスモ証券、東洋証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年12月期(実績)	899	47.1	-147	赤拵	-157	赤拵	-277.1	—
12年12月期(実績)	1,128	25.5	-237	赤拵	-245	赤拵	-399.7	—
13年12月期(会社予想)	1,896	68.0	175	黒転	151	黒転	157.4	—

※ 13年6月に株式分割(1株→500株)を実施。12年12月期および11年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
11年12月期	1,225	683	3	97	5.9	0.5	—
12年12月期	1,675	853	28	232	34.1	3.4	—

※ 12年12月期および11年12月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	野口 和輝	450,000	50.70
2	ジャフコ・スーパーV3共有投資事業 有限責任組合	337,500	38.03
3	野口 美香	50,000	5.63
4	古郷 優子	15,500	1.75
5	高木 三愛	12,500	1.41
6	谷岡 博	9,500	1.07
7	小野木 謙一	5,000	0.56
8	安松 大輔	3,500	0.39
9	鎌田 聖一	2,000	0.23
10	竹島 舞	1,500	0.17

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	野口 和輝
代表取締役副社長 居宅事業本部長	古郷 優子
代表取締役専務 管理本部長	高木 三愛
常務取締役	小野木 謙一
取締役	鎌田 聖一
取締役	安松 大輔
取締役	竹島 舞
取締役	吉岡 清孝
取締役	谷岡 博
常勤監査役	平田 精作
監査役	前野 博
監査役	大野 芳弘

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。